

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
鉄道と港のまち敦賀地区

平成31年4月

福井県敦賀市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	JR敦賀駅乗降客数	人/年	2,827,000	3,109,000	2,975,000	確定	×	あり	2,619,956	H31年4月	×	評価値(見込み値)の推計で想定した伸び率に比べ、実際の乗降客数の伸び率は横ばいで伸びなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	確定値は、評価値(見込み値)よりも低く、平成28年度からの乗降客数の伸びはほぼ横ばいで指標は伸びなかった。そのため、改善策に補強が必要であると考えられ、現在進めている景観まちづくり刷新支援事業や金ヶ崎周辺における観光拠点の整備等を図ることで賑わいの創出を図り、JR利用者数を増やしていく必要がある。
指標2	観光施設(公共)の入場者数	人/年	10,567.0	11,600.0	26,000	確定	○	あり	20,700	H31年4月	○	改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	確定値は、目標値を大きく上回っており、本事業による金ヶ崎緑地周辺や舟溜まり周辺における賑わい交流拠点整備や景観整備による観光資源の充実により、賑わいが創出されていると評価できる。
指標3	景観整備実施件数	件	14	34	37	確定	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値は目標値を上回っており、これは舟溜まり地区における道路等の高質空間形成施設整備や景観形成推進地区における景観整備の実施などにより、賑わいの創出が図られてきたと評価できる。
指標4	歩行者・自転車通行量	人/日	813	980	986	確定	○	あり				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値は、目標値を上回っており、これは歩道部のバリアフリー化等の道路改良工事や側溝新設等の道路修繕工事の完了により、歩行者や自転車等がより安全で快適に通行できる空間が整備され、回遊性が向上したと評価できる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定							<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	更なる賑わいの創出	平成29年度において、国土交通省による景観まちづくり刷新支援事業のモデル都市に選定されたことを受け、金ヶ崎緑地における人道の港ムゼウムの新規整備や北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりとして、本町通り道路空間整備の実施、又、景観形成推進地区及び本町通り商店街の景観整備や敦賀駅前広場における立体駐車場の整備、またレンタサイクルの新たな整備を実施中である。	—	平成34年度の北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりが進む中、敦賀駅周辺や金ヶ崎周辺での賑わい創出に向けた環境整備や誘客に向けた施策等を民間団体と連携を図り、継続的に実施していくことで更なる賑わいの創出を図っていく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	人道の港敦賀ムゼウムの機能拡充	平成29年度に国土交通省から景観まちづくり刷新支援事業のモデル都市に選定され、その事業の一つである「人道の港交流施設整備事業(2019(H31))」を活用し、新たにムゼウムを建設し機能の拡充を図る。	—	新たに建設する人道の港敦賀ムゼウムは、平成32年度に供用開始を予定しており、供用開始に向けたPRや供用開始後の誘客に向けた施策を実施し、金ヶ崎周辺の賑わい創出を図る必要がある。
	景観形成推進地区における景観意識の向上	・平成29年度に国土交通省から景観まちづくり刷新支援事業のモデル都市に選定され、その事業の一つである「景観形成推進地区等外観整備事業(2018(H30)～2019(H31))」を活用し、景観形成推進地区内の外観整備に支援を実施していく。 ・次期計画となる「敦賀市中心拠点地区都市再生整備計画(2019(H31)～2023(H35))」において、景観形成推進地区における「景観まちづくり整備支援事業(2020(H32)～2022(H34))」を実施し、継続的に支援を実施していく。	—	景観形成推進地区における住民の景観意識を高めるとともに、景観整備に対する支援を継続していくことで、景観形成推進地区の賑わいを図る必要がある。
	拠点を結ぶ動線の更なる魅力向上	・平成29年度に国土交通省から景観まちづくり刷新支援事業のモデル都市に選定され、その事業である「本町通り道路空間整備事業」及び「本町通り道路空間ストリートファニチャー整備事業」を活用し、敦賀駅周辺と敦賀港周辺を結ぶ動線の魅力ある空間づくりの整備を図る。	—	新たに生み出された道路空間を有効活用するとともに、イベント等の開催を通じて、賑わいの創出を図る必要がある。
	敦賀駅周辺での北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりと、駅や港の更なる賑わいの創出	・次期計画となる「敦賀市中心拠点地区都市再生整備計画(2019(H31)～2023(H35))」において、北陸新幹線の敦賀駅東口の広場整備や金ヶ崎緑地周辺の整備を実施し、更なる賑わいの創出を図る。 ・民間団体が開催している「敦賀港イルミネーション・ミライエ」や新しく整備する「人道の港敦賀ムゼウム」や「赤レンガ倉庫」と連携を図ることで更なる賑わいの創出を図る。	—	北陸新幹線敦賀開業が迫るなか、敦賀駅周辺や敦賀港周辺は重要な観光拠点となることから、市内外へのPR活動や誘客に向けた活動を実施し、受け皿づくりとなるまちづくりを進めていく必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項